



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

★Celebrating 15 years★

Volume 16 | Issue 1 | September 2012

➡ In this issue...

- ▶ 新任スタッフの紹介...p. 2
- ▶ エレメンタリーSRC...p. 4
- ▶ English intensive class...p. 7
- ▶ 家庭でのインターネット...p. 9
- ▶ 未来のリーダーたち...p. 10
- ▶ 避難訓練...p. 11
- ▶ 図書室ニュース...p. 12
- ▶ セカンダリーSRC...p. 14
- ▶ Founders' Awards...p. 14
- ▶ 慶応大学でのサマーインターンシップ...p. 16
- ▶ 卒業生の声...p. 18
- ▶ PTAニュース...p. 19

“教育とは、学んだことがすべて忘れられた後に残る“何か”である”

—B.F. Skinner

From the School Director

KISTは創立以来、今年で15年になり、私たちの息子を含むK1からGrade12までをKISTで学んだ生徒が、今年初めて旅立って行きました。振り返りますと、様々な出来事が心に蘇ると共に、一年一年の大切さと、子供たちの教育に対する一日一日の責任の重さを改めて痛感しています。これからも初心を忘れずに職務を果たして参りたいと思います。

度々ご案内の通り、現在KISTでは、創立の原点に立ち返って、様々な改善を行っています。

今回は6月に完成したschool songを紹介することにより、違う角度からKISTの哲学を皆様にお伝えしたいと思います。

For Tomorrow

Never forget that all through time
We make the future together
Side by side, hand in hand
Building a better world for tomorrow

どんなときも わすれないで
未来は皆で 作ってくよ
輝く未来 築くために
あしたに向かい 歩こうよ

We are all sharing the earth
We're not alone
Neighbors and friends helping us learn
All through our lives

人や自然に ささえられ
私たちは 生きてる

Anytime you see someone who is in need
Just stop and think what help we can give
Just trust in yourself, believe in yourself
And you can change the world
For everyone

いつの日か 誰かのために
何かができるかな
誇りを持ち 生きてくために
さあ未来へ
For everyone

この歌でお伝えしたいのは、以下のことです。

“未来は私たち皆で作るということを忘れないで欲しい。そして未来は平和で輝くものにしなくてはいけない、そのために努力していこうよ

人や自然に支えられて私たちは生きている。だから私たちも誰かを支えられる自分にならなくてはいけない

人や自然のために役立つことや、輝く未来を作るために何かが出来ようになれば、自分に誇りをもって生きていけるよ”

次ページに続く

DATES TO REMEMBER



September 2012

- 17 School closed (National holiday)
- 18 (S/EIC) Field Day
- 19 (E) Field Day
- 19 (G1-G12) Clubs program begins
- 20 (G5) Camp explanation evening
- 21 MYP New parent information night
- 22 High school drama festival
- 25 (W) Free dress day
- 26-28 (G8) Camp
- 26 (PYP) New parent information session

October 2012

- 1-2 School photographs
- 3-5 (G5) Camp
- 5 World Teachers' Day
- 8 School day
- 9-11 (G3-G10/EIC) ISA testing
- 13 School explanation day
- 15 2013-2014 enrollment applications open
- 17 (G10) PSAT tests
- 19 KISTival preparation day (K1-G5) No school for students (S) School day
- 20 KISTival 2012
- 21-28 Autumn break
- 29 (W) School resumes

November 2012

- 2 Last day of quarter 1
- 2 (W) DEAR literary character dress-up day
- 2 (S/EIC) SRC dance
- 5/12/19/27 DEAR reading initiative

前ページからの続き

混沌とした世界の現状をより良く変えていくには、思いやりのある使命感を持った有能な人材が必要です。KISTでこのような思いを持った若人が育ち、協力して社会に貢献することを心から願い、学校の創設者である私たちがその思いを歌詞に託しました。

また、このschool song, "For Tomorrow"はスクールコミュニティメンバーであり日本の著名なミュージシャンである布袋寅泰氏がご厚意により作曲して下さい、私たちと同じくするKISTのCraig Larsen氏が英詩をつけて下さいました。この場をお借りして、改めて両氏にお礼申し上げます。

私はこのCDを毎日車の中で聞きながら通勤しています。廊下ですれ違う生徒が口ずさんでいるのを聞くと、とてもうれしくなります。スクールコミュニティの皆様にも、ぜひこのschool song, "For Tomorrow"に親しんでいただけたらと思います。

Yoshishige Komaki
School Director/Head of School



Mr Komaki

新任スタッフ紹介

今年度も国内、海外より新たにスタッフが仲間入りしました。スクールコミュニティを代表して皆を歓迎し、それぞれが良き1年を過ごすことができるよう願っています。

新任スタッフを含め、全教員のE-mailアドレスは、スクールウェブサイト **Contact >> Faculty Directory** ページに掲載されています。



日本語担当教員とともに、料理を通して日本の文化にふれる体験をしました



Clay Bradley
G3A担任



Susan Hirakawa
セカンダリースクール
言語サポート



Robert Johnson
英語 Language A /
進路指導
カウンセラー



Julia Lupone
G3B担任



Lucila Zornosa-Sanchez
G1B担任



Chien-Hsuan Chen
K2クラス
アシスタント



Anna Holdaway
K3Bクラス
アシスタント



John McDonough
K2クラス
アシスタント



Aaron Ross
LEAP担当



Yuki Tanabe
バスドライバー

エレメンタリースクールニュース

2012-2013年度がスタートしました。

皆様良い夏を過ごされ、リフレッシュし、新たな学校での生活を楽しみにしながら新学期を迎えられたことを願っています。私も家族とともに国内あちこちへでかけたり、ふたりの息子と遊んだりしながら夏を過ごしました。子ども達とゆったりした時間を共にし、様々な経験にふれていくことの大切さを改めて感じました。新しい場所と出会ったり、新しいことに挑戦する度、なに、どうして、なぜといった疑問が、自然と探検や冒険へとつながり、楽しみながら発見を重ねていきました。子ども達が不思議に思うことはそれぞれにとって魔法のようなものであること、大人の私たちも忘れずにいたいものです。

疑問は探究へとつながります。だからこそ、私はIB PYPプログラムの内容に確信をもっています。そして、身近な世界で子ども達が抱いた疑問についてそれぞれが検証し、学んだ内容を新たな行動へとつなげていくことのできる学習環境を提供しています。スキルや知識にも重点をおきながら、子ども達の疑問を中心に取り組んでいくことによって、それぞれが興味を持ち、まわりの世界とのつながりを感じながら学んでいくことができるのだと思います。

今年度よりエレメンタリースクールの校長として、今後も生徒が様々な疑問を抱き、それぞれの問いかけが探究へとつながっていくよう尽力していく次第です。

皆様もお子さんとともに、探検、発見されることを願っています。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal



Mr Yoshihara

KISTival 2012

当校の年間行事であるKISTivalが10月20日(土)、10:00から3:00の時間帯で行われます。当日は学年ごとに当番を務めることとなります。スクールコミュニティの皆様にもよりよいイベントを開催し、収益確保のため準備、運営等にご協力をお願いいたします。なお、準備日となります10月19日(金)はエレメンタリースクールの生徒(K1-G5)はお休みとなります。G6-G12の生徒は登校日となり、準備を行います。近日中にも詳細をお知らせいたします。



K1-K2ニュース

K1-K2チームリーダー、K2クラス担任のClaire Yoneyamaです。

K1、K2の子ども達も新しい生活、クラスに慣れ、学校での時間を過ごしています。K1クラスのお子さんには新学期当初、親御さんと離れて過ごすはじめての経験にとまどい、涙する姿もみられましたが、少しずつ慣れてきた様子です。

K1クラスでは、学校生活に慣れていただくためにgradual entry program (2週間の慣らし保育の期間)を設けていま



す。1週目は午前、午後のグループにわかれ数時間ずつを過ごし、後半の2週目はランチまでの午前保育となっています。3週目より通常のスケジュールでの登校となります。

K2クラスの1日は9:30から3:20までとなっています。時間外保育として8:30よりお越しいただけることになっており、多くのお子さんがいらしています。スタートしてからの2週間は、クラスでのルールや1日の流れを学び、新しいクラスに慣れていくことができるような活動を行いました。K2となり、子ども達が自主的に責任をもって行動していくことができるよう取り組んでいます。

K1、K2両クラスでは探究ユニット「私たちは誰」より新年度の学習をスタートしました。K1クラスはまわりからのサポートとともにどのように学んでいくのか、様々な形を探っています。また、K2クラスは年間を通して学習を深めていくユニットとして、五感を使って自身の体や身の回りのものについて学んでいます。

K1、K2クラスへお立ち寄りの際、また学校へお越しの際は気軽に子ども達に声をかけてみてください。笑顔とあいさつで皆様を歓迎する姿がみられることでしょう。

Claire Yoneyama
K1-K2 Team Leader, K2 Classroom Teacher



Mrs Yoneyama

PYPニュース

2012-2013年度もすばらしいスタートを切ることができました。子ども達からも学校の再開、仲間との再会、新しい友達たちとの出会い、新たなクラス、先生との対面を心待ちにしていた様子がかがえました。新しい探究ユニット、算数、リテラシー等、楽しみながらさっそく学習に取り組む姿がみられました。新たな発見、学び、成長に満ちたすばらしい1年になることでしょう。

新年度もスタートより生徒たちがIBカリキュラムにおいて**求められる学習者像**をすすんで示し行動している姿がみられています。PYP、MYP、DPプログラムを通して**深く考え反省し、心を開き、バランスがとれ、正義感、思いやり、知識があり、また考え、コミュニケーションができ、探究、挑戦をしていく人材**を育てていくことを目標としています。エレメンタリースクールでは子ども達が積極的に求める学習者像を目指していくことができるよう、様々な取り組みを行っています。月ごとに「Learner Profile of the Month (今月の学習者像)」としてとりあげ、子ども達への意識を高めています。今月は**挑戦する人**への挑戦です。ご家庭でも、お子さんに挑戦する姿をみせることによって、また挑戦するとはどのようなことなのかお話いただくなど保護者の方にもご参加いただければと思います。



また、生徒、保護者、教員が求められる学習者像に示される行動、態度に対し、互いに表彰し合うことのできる取り組みも展開しています。このように、求められる学習者像の芽が日ごろから確実にエレメンタリースクールでみられています。表彰につきましては、エレメンタリーオフィス前に掲示板を設けていますので、そちらをごらんください。

9月26日(水)、夕方6時よりMPRにてPYPインフォメーションセッションを行います。新入生のご家庭などPYPプログラムをはじめてといった保護者の方、またプログラムの理念、カリキュラム内容について今一度ご確認されたい方を対象としています。皆様のお越しをお待ちしています。



Elizabeth Heard
PYP Coordinator

Ms Heard

“新入生の保護者を主に対象としたPYP
インフォメーションセッション”

9月26日(水)
午後6:00-7:00 | MPRにて

ESRC

ESRC(エレメンタリースクール生徒会)も2012-2013年度の活動をスタートさせました。エレメンタリースクール生徒の意見を学校生活に反映し、課題に取り組み、協議、解決を図ります。また代表として主な決定も行います。

ESRCは、G5より選出された 会長、副会長、書記、会計からなる委員会とK3-G4各クラスの代表で構成されています。

ESRCメンバーは、週ごとに集まり、エレメンタリースクールの課題について話し合いを行っています。委員会のメンバーおよび各クラスの委員は代表としてクラスの意見をとりまとめ、提案し、話し合いがすすめられています。今年度のスタートとして休み時間のルールについて、また新しい遊具の導入に取り組んでいます。

メンバーそれぞれがエレメンタリースクールのコミュニティをよりよくしようと意欲的に活動しています。ESRCにとって充実した1年となりそうです。



2012-2013年度 エレメンタリーSRC

委員会

会長

Goki (G5A)

副会長

Shridhar (G5B)

会計

Ushani (G5A)

書記

Katherine (G5B)

クラス代表

Renzo (K3A) | Sophia (K3B)

Ethan (G1A) | Haruto (G1B)

Harunosuke (G2A) | Mai (G2B)

Hanna (G3A) | Kishore (G3B)

Hee Sung (G4A) | Ian (G4B)

セカンダリースクールニュース

IT最新情報と K. OneNote

2012-2013年度はとても良いスタートを切る事が出来ました。今年度も、カリキュラムによりテクノロジーを取り入れ、デジタルスキルを磨くというITの長期目標に向けて進んでいます。10-12年生の生徒それぞれがラップトップを持参し、1人1台利用する試みを始めました。生徒が大学進学前に自身のラップトップを持ち、学業に活かすため使い方を学んでいくのは、成功するのに必要不可欠なスキルです。この試みによって、学費を抑えつつ、6-9年生がラップトップを使う機会をより多く設けることができようになりました。下の学年に在籍するセカンダリー生徒は、安全性と学習の効率を考慮し、ラップトップを学校が提供し、利用していくことがより理想的であると考えます。

10-12年生は、“K. OneNote” と呼ばれ、新しく学業の基盤となるソフトウェアを使い始めました。新学期最初の週に行われたITセッションで個人のラップトップを持参した生徒を対象に内容の説明がありました。この試みは生徒に“Personal Learning Environment”(個人学習環境)を提供することを目的とし、それぞれのオーガニゼーション、整理に役立つ事が出来ます。10年生が今後行うパーソナルプロジェクトに使われるプロセスジャーナルも、このK.OneNoteに組み込まれており、11年生のExtended Essay(課題論文)でも似たようなシステムが利用されます。これらのジャーナルは、インターネット上で生徒とアドバイザーによって共有される事が出来るため、生徒と担当教員のコミュニケーションを手助けします。Windowsユーザーでない生徒もウェブアプリケーションを使う事が出来ますが、Macを利用する生徒はEvernoteなどの同じようなソフトウェアを使う事も出来ます。保護者の方々、学年を問わず、お子さんがどのようにしてノートを取り、まとめているか聞いてみてください。今年度、K. OneNoteをより使いやすくし、他の学年の生徒も自宅のコンピューターで利用できるよう検討しています。

Parent Welcome Night

Parent Welcome Night (保護者説明会)にお越し下さりありがとうございました。昨年までに保護者の皆様からいただいた

意見を取り入れ、体育館で各教科の先生をわかりやすいよう配慮を加えました。11月23日に行われる三者面談のセットアップも似たような形となります。三者面談にさきがけ、11月9日に第1クウォーターレポートを配布する事により、お子さんの学習状況を事前に確認して頂く事が出来ます。全ての保護者が各教科担当の先生との面談を行うわけではなく、先生の希望により面談を設定させていただくほか、保護者の方も希望する先生と調整し、面談を行うことができます。

PowerSchool

Parent Welcome Nightでは、保護者と生徒のPowerSchoolへのアクセスについても説明がありました。11月の初めには、保護者の皆様もPowerSchoolへアクセスできるようになる予定です。これにより保護者の方も生徒も、先生により成績が入力されると同時に生徒が行った課題の評価がわかるようになります。このような情報が提供されることにより、出欠を含め、それぞれがなにに取り組むべきか明確に分かるようになります。はじめに数名の保護者の方に試験的にご利用頂き、様子を見ながら最終的には皆様にアクセスを拡大していく予定です。詳細は追って連絡致します。

2012-2013年度の時間割

Class Times:		Long Tuesdays:		Short Tuesdays:	
Homeroom	8:30 - 8:35	Homeroom	8:30 - 8:35	Homeroom	8:30 - 8:35
Block 1	8:40 - 10:05	Block 1	8:40 - 9:45	Block 1	8:40 - 9:45
Block 2	10:10 - 11:35	Block 2	9:50 - 10:55	Block 2	9:50 - 10:55
Lunch	11:35 - 12:20	Lunch	11:00 - 11:45	Lunch	11:00 - 11:45
Block 3	12:20 - 13:45	Block 3	11:45 - 12:50	Block 3	11:45 - 12:50
Break	13:45 - 14:00	Block 4	12:55 - 14:00	Break	12:50 - 13:00
Block 4	14:00 - 15:25	Break	14:00 - 14:15	Block 4	13:05 - 14:10
		Advisory	14:15 - 15:25		



K. OneNoteの画像

クラスペアレントの重要性とお願い

Parent Night(説明会)ではホームルームの先生からクラスペアレントの説明とお願いがありました。快く引き受けてくださった方のいたクラスもありますが、現在でもクラスを代表していただく保護者の方が決まっていないうクラスもあります。この文面を用意している段階では、6B、7A、7B、8A、8B、9A、9B、10A、11A、11Bクラスのクラスペアレントになってくださる方々を必要としています。

スクールコミュニティ内でよりよい関係、コミュニケーションを築いていくために、保護者の役割はとても重要です。クラスペアレントの方には特に、KISTivalなどのイベントサポート、Field Trip(校外学習)などのクラスイベントで引率のサポートにご協力いただくなどの役割をお願いしています。学校として、生徒とスクールコミュニティのニーズに応えるべく、クラスペアレントのあり方について引き続き考えいく次第です。ご協力いただける方がいらっしやいましたら、クラスを明記のうえ、stephen.rothkopf@kist.ed.jpまで直接ご連絡下さい。

次ページに続く

前ページからの続き

学年別宿泊校外学習

昨年と同様に今年度も3つの宿泊校外学習を計画しています。それぞれの校外学習の目的は、カリキュラムに関連しながらも、学校では行う事ができないユニークなアクティビティを通して、活動後の生徒の学校での学習環境をより良くしていく事にあります。これらの旅行には原則として、各学年のホームルームの先生が引率することとなっています。詳細はそれぞれのご家庭にKISTのEメールシステムで送られます。日程はこちらの通りです

- 9月26-28日(8年生)
- 11月8-9日(6年生) **変更となりました**
- 3月6-8日(10年生)

学校の16年目のスタートとともに、コミュニティの皆様とまた一緒に力を合わせ、過ごしていくことができるのを楽しみにしています。セカンダリースクールにとって良い一年になるよう努力してまいります。

敬具

Stephen Rothkopf
Secondary School Principal



Mr Rothkopf

2012入学説明会

2013 - 2014年度向け

KISTでは2013 - 2014年度入学希望者を対象とした入学説明会を行います。

アドミニスタップおよび教師が直接皆さまからの様々な質問(入学手続き、カリキュラム、大学進学、その他学校生活全般について)に直接お答えいたします。

また、学校施設の見学もできます。

日時:

October 13, 2012 (Saturday)

セッションは2部制です:

- (1) English: 9:45 a.m. - 12:00 p.m.
- (2) Japanese: 1:15 p.m. - 3:30 p.m.

受付締切は:

October 12, 2012(Friday)

要予約です!

www.kist.ed.jp

MYPニュース

アートの教科ガイド変更

新年度の始まりは、生徒、保護者、先生にとって特別な時期です。MYPでは、既に発表されている“MYP: The Next Chapter”に沿った変更が展開されています。この変更の一環として、新しい教科ガイドが世界中で試験的に導入されはじめています。KISTでは、今年度MYPの全学年においてアートの新しい教科ガイドを取り入れた学習を行う事となりました。MYPのアートを担当する先生は今年度を通して、オランダ・ハーグにあるIB本部と連絡をとりながら、新しい教科ガイドに関する意見をまとめ、報告することとなっています。KISTを含め、世界中から新しいアートの教科ガイドを用いた学校の意見を集約し、2014年に最終版が作成、発行されます。新しい教科ガイドにより、最新の学習基準による授業が展開されることとなります。



日本語でのIBワークショップリーダートレーニング

KISTは国内でのMYPの発展に積極的に参加しています。今年度最初の週にMYP教員であるMs Kanazawa、Ms Yamashita、Ms. Johnstonの3名が、日本語でMYPワークショップを行うリーダーになるためのトレーニングに参加しました。



Ms Kanazawa



Ms Johnston



Ms Yamashita

IBによるワークショップであり、昨年夏、文部科学省が発表した5年以内にIBスクールを200校増やすといった目標に対応し、知識あるリーダーによる指導を提供していくため、バイリンガルのMYP教員を対象にした内容でした。IBのワークショップリーダーとしての知識を持った先生が当校にいることはとても素晴らしい事です。今回のワークショップで学んだスキルは先生方の授業にも活かされていくことでしょう。

関東で唯一、一貫した3つ全てのIBプログラムを提供している学校として、MYPカリキュラム発展のため積極的な活動を続けていきます。

Vedrana Pavletic
MYP Coordinator



Ms Pavletic

DP ニュース

IB ディプロマの結果

夏休み期間中、“Class of 2012” (2012年度卒業生)のIBディプロマの結果が公表されました。下記テーブルは2007-2012年度までのKIST卒業生の成績をまとめたものです。

Year of Graduation	KIST mean points*	Number of Grade 12 full DP students	Number of students awarded the IB Diploma	Mean points of students awarded the IB Diploma*	Highest KIST Score*	Worldwide mean points**
2012	29.06	17	14	30	37	TBA
2011	30.5	16	14	32	40	29.61
2010	27.05	18	11	30	38	29.55
2009	31.80	10	9	32	45	29.51
2008	30.88	8	5	35	39	29.57
2007	30.50	2	1	36	36	29.56

*45点満点

“Class of 2012”の結果は、2年間のディプロマプログラムが、2011年3月の震災によって中断されたにもかかわらずポジティブでした。上のテーブルの通り、17名中14名がフルディプロマを取得し、8名が30点以上の素晴らしい成績を収めました。37点とClass of 2012の最高得点、そして**バイリンガルディプロマ**を取得した**Su Ah**、おめでとう。今年は7名の生徒がバイリンガルディプロマを授与しました。そのうちの5名が日本語と英語を第一言語として学び、1名が韓国語と英語、1名がポーランド語と英語を”A”言語として学びました。Class of 2012の生徒のうち半数近くがバイリンガルディプロマを目指していました。これは3年前の2009年と比べると100%の増加率となります。更に今年度は25%の生徒がMathematics HLを学び全員が4、もしくはそれ以上の成績を収めました。この平均値は世界中のDP Mathematics HLを学んだ生徒の平均よりも非常に高いものとなっています。

IBディプロマの結果についてより詳しくごらんになりたい方は<http://www.ibo.org/diploma/assessment/results/>にて“Statistical Bulletin” (統計)をご確認ください。2012年5月の結果は11月に掲載される予定です。

生徒の皆さんのDPでの成功をたたえます。12年生を担当した教師の皆さんのご指導にも感謝しています。

Mark Cowe

Secondary School Vice Principal/IB Diploma Coordinator

mark.cowe@kist.ed.jp

KISTのIB Diploma examinerの先生方

KISTには、IBディプロマに関する知識と経験が認められIBからDP examinerとして採用されている5名の先生がいます。この5名はIBの要請により、IBワールドスクールの生徒によって通常3-6月に行われる課題を評価する事ができます。今後1、2年の間にDP examinerとして認定される先生が増える事を期待しています。

現在KISTの教員で、IBによってDP examinerとして認められている先生方:

- **Kiyomi Kanazawa** – Japanese B
- **Etsuo Kamo** – Japanese A
- **Daryl Bates** – Visual Arts
- **Marina Babaeva** – Music
- **Mark Cowe** – History, Theory of Knowledge



Ms Kanazawa



Mr Kamo



Mr Bates



Ms Babaeva



Mr Cowe

English Intensive Class

英語集中クラス(EIC)は2012年4月に、KISTでMYP(もしくは他校の似たようなプログラム)に編入することを目的に、英語力を身につけサポートを行うプログラムとしてスタートしました。現在、6-10年生の生徒が合計17名在籍しています。

EICの生徒全員がKISTに来てから、頑張って勉強しています。はじめはとても緊張していましたが、先生やみんなが恥ずかしがらず、自信を持ってそれぞれの意見をシェアしていくことができるよう協力をしてくれました。

KISTで私たちが守らなければならないルールは、責任を持って宿題などの課題に取り組み、他の生徒そして先生を尊重する事です。EICの生徒たちは設備や施設が充実したKISTでの学習をとっても楽しんでいる様子です。休み時間に遊び、リラックスする事のできるフィールドをみんなは特に気に入っています。KISTでの勉強が楽しいのは、先生方がそれぞれ違った教え方をしてくれるからだと思います。そして学習をすすめていくうえで、トピックをきちんと理解しているかどうかを、常に確認してくれます。勉強だけでなく、KISTでの学校生活を楽しむ方法も教えてくれます。前 Semester でEICの生徒たちが力をつけること事ができたのは先生方のおかげであり、それぞれが成果を収めることができるようベストを尽くしてくれていることに感謝しています。また、前 Semester はLEAPプログラムのサポートによって、それぞれ宿題に取り組むことができました。

KISTで学ぶ事ができること、とても嬉しく思っています。ここでの日々は将来へつながるものであり、広い視野、考えを持つことのできる環境です。前 Semester のダンスパーティー、コンサート、ファミリーデーはとても楽しかったです。心地よいここでの毎日を、楽しく幸せに感じています。EICは少人数という点でも、また一緒に遊び、助け合う友達関係の良さでも他のクラスとは異なると思います。

EICの生徒が今 Semester、また多くの事を学び、成果を収めていくことを楽しみにしています。

Cherokee (I9A)



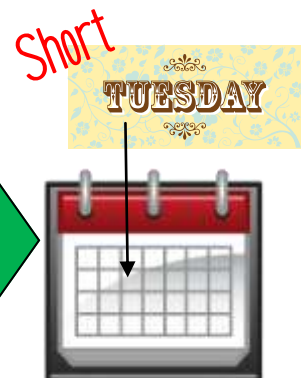
短縮火曜日

スクールカレンダーに記載されている通り、2012-2013年度には18回の“短縮火曜日”が予定されています。短縮授業となる火曜日は全校の下校時間が2:10pmになり、K1から12年生までの全校生は指定の時間に下校し、キャンパス内に残ることは原則として認められていません。

短縮火曜日は、放課後のLEAPプログラムを除き、アフタースクールアクティビティが行われません。

学校全体で教員が共同で授業計画、準備を行うなどの授業研究を奨励するIBの考えをもとに2011年より導入されています。

8月28日
9月11日、25日
10月9日、30日
11月13日、27日
12月11日
1月15日、29日
2月12日、26日
3月12日
4月2日、16日、30日
5月14日、28日



KISTコミュニティ内の国籍数

インターナショナルスクールであることの特徴の一つとして、生徒だけでなくスタッフも含め、多様な国籍からなるスクールコミュニティがあげられます。

今年度KISTでは、47ヶ国の国籍をもつ生徒とともに18ヶ国のスタッフが在籍しています。それぞれの国は下記表にてご覧いただけます。あなたの国は見つかりましたか？



生徒の国籍数



スタッフの国籍数

Free Dress Days

スクールカレンダーにも掲載されていますように2012-2013年度のフリードレスデーは次の日程を予定しています。

- 9月25日 (火)
- 11月28日 (水)
- 2月8日 (金)
- 5月16日 (木)



この日程すべて全校でのフリードレスデーとなります。お知らせ等の配布は予定しておりませんので、カレンダーにてご確認ください。これらの日程は、200円を寄付していただき、私服で登校することができるようになっています。集まりました合計は、SRCの活動資金となり、校内のプロジェクト、物品の購入などにあてられます。

私服につきましても、通常の学校ドレスコードをふまえ、教育の場にふさわしい控えめな服装であるよう、各ご家庭で十分ご配慮ください。ドレスコードの詳細は、スクールハンドブックをご覧ください。

ご家庭でのインターネット

カウンセラーからのアドバイス

子供にとって適切なインターネットの使用方法について、情報を見極めるのは簡単なことではありません。パソコン、インターネットの正しい使用方法について下記の事項を中心にお子さんと話し合ってみるのはいかがでしょうか。

ルールを決める:

パソコンのモニター上、もしくはモニター付近の見えるところにシンプルで分かりやすく、読みやすいルールを貼って下さい。ルールを決める際にお子さんと話し合い、お子さんの意見も反映し、ご家庭でのパソコンとインターネットの使用についてお互いが納得する内容を心がけてください。

フィルターを利用する:

フィルター、もしくはモニタリング(監視用)ソフトウェアの使用をご検討ください。プロバイダーが保護プログラムを提供している場合もあります。そのような場合は、これらを利用し、フィルターをかけたりモニタリングを行うことができます。また、お子さんが宿題や課題に取り組む際は子供向けのサーチエンジンを利用されるようご確認ください。

履歴を確認する:

履歴をご覧になり、お子さんがどのサイトを閲覧したかを確認して下さい。履歴が削除されていた場合、それは何かしら理由があるという事ですので、一度お子さんと話し合ってみてください。

Eメール、チャットの危険性について話し合う:

お子さんがチャットやEメールを使用している場合、インターネットで知り合った友達と直接会うことは避けるようご指導下さい。また、危険性を伴ったり、攻撃的なEメール、チャットには返信しないようご注意下さい。サイトへのアクセス、Eメールの交換などもお子さんと話し合い、保護者の方が許可し、把握している範囲での利用をおすすめします。

利用をモニターする:

リビング、もしくは他のオープンスペースにパソコンを設置し、いつでも気軽に、お子さんのインターネットやパソコンの利用状況をチェックできるようにしておいて下さい。

インターネットセーフティに関する詳しい情報:

<http://www.gclearnfree.org/internetsafety/extra/47>

Benjamin Fishman

K-12 Student Welfare Counselor



Mr Fishman



Min in Seoul

Severance Hospitalでのボランティア活動

8月に韓国・ソウルにあるSeverance Hospital of Yonsei University Health System (YUHS、延世大学医療院)でのボランティア活動という素晴らしい経験をする事ができました。YUHSは1885年に韓国で最初となる現代医療施設として創設されて以来、東アジアでも有数の医療の最先端を行く大学病院として知られています。

オリエンテーション後、現地の高校生とともにそれぞれ病院での重要な役割を担う部門に配置されました。私は、「健康保険審査チーム」と呼ばれる部署に配属され、主に部門の運営アシスタント業務にあたりました。直接患者さんと関わる事のない部署でありましたが、このボランティア活動により、医師と看護師以外にも舞台裏で多くの人々が医療システムを支えている事、そしてそれによって多くの人たちが支援されていることが分かりました。

YUHSでボランティア活動をするのは今回が2回目でしたが、とても意義ある経験となりました。CAS、もしくはC&Sの

“病院でのボランティア活動は、医療に興味のある生徒にとって特に充実したものになると思います。”

アクティビティとしての病院でのボランティア活動は、医療に興味のある生徒にとって特に充実したものになると思います。なにより、病院でのボランティアを通してそれぞれの部門によって病院が様々な役割をこなしていること

がわかることでしょう。昨年はYUHSのリハビリ部門にて、今年よりも患者さん達と直接関わる経験をしました。

KISTの後輩たちには、病院での価値ある、貴重な経験を勧めたいと思います。病院では、命の尊さ、そして社会にとって医療がいかに重要であるかを学び、感じる事が出来ます。

YUHSでのボランティアに関する情報は <http://www.yuhs.or.kr/en> でもごらんいただけますが、私にも気軽に声をかけてください。

Min (G11B)



Severance Hospital, Seoul

未来のリーダーたち

GYLCに参加したKISTの生徒

6月の終わりから7月の初めにかけて、Daniel, Min, Naishi, Moyu, Sashank, Adam, Leticia, Miku, Eun Ji は、2012年度のG10生徒を代表し、ワシントンDCとニューヨークで行われたGlobal Young Leaders Conference (GYLC)に参加してきました。模擬国連と似たこの催しは2週間の日程で行われ、多文化の集まる会合に世界各地から同年代の生徒が数多く参加し、リーダーとして必要な心構えを学習するとともに、国連でどのように政策や決議が展開されているのかを学びました。早朝から行われたアクティビティや集会の後は、自由時間があり、ショッピングをはじめ、Lincoln memorial、国連本部、エリス島などの観光地を巡り、ニューヨークのナイトクルーズを楽しんだりしました。

この期間中、生徒はアメリカ政府に勤務する関係者の方と会う機会や、国際サミットのシミュレーションで選んだ国のリーダーの役割を演じる機会が与えられました。生徒は選んだ国のために自身でスピーチやアクティビティを考え、自身の知識のためだけでなく、自分のグループがディベートに貢献するためスピーチを考えるという要素もあり、とても良いCASアクティビティの例だと思えます。



GYLCは生徒にとって、Creativity, Action, ServiceといったCASに必要な全ての要素を経験することのできる機会です。サミットに参加している他のグループのために、率先して他の生徒が行った事のない国のリーダー役を務めたり、ここで得た知識やスキルを日本に持ち帰り、学校と日常生活で活かし日本の若きリーダーとなっていくうえでのActionにもつながります。

新しい友達との出会いだけでなく、楽しみながら自身についても学び、将来役に立つであろうリーダーシップスキル、そして自信を得る事もできました。

Daniel (G11A)

LEAPアップデート

夏休み期間中に行われたLEAP Summer Academic Programには多くの方にご参加いただきありがとうございました。参加した生徒、保護者の皆様からは新学期が始まる前の良い準備になったと、好評をいただきました。

LEAPは他にも、生徒の言語能力や算数を集中的にサポートするための放課後のプログラムを提供しています。生徒の読み書き、スピーキングに加え、算数の力もつけることができるようカリキュラムが組まれており、生徒がバランス良く学べるようになっています。



詳細は学校のウェブサイト(<http://k-leap.jp>)をご参照下さい。LEAPについてのご質問等は leap@kist.ed.jp までご連絡下さい。

The LEAP Team

今semester提供されているプログラム:

曜日	学年	コース
月～金	K1-K3	リテラシーと数の基礎 (3:30-4:30) (*月-木: キャンセル待ちのみ)
		ホームワークサポート、時間外保育 (4:30-5:30)
月、水、金	G1-G3	英語-リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング(3:30-4:30) (*キャンセル待ちのみ)
火、木	G1-G3	算数 (*火: キャンする待ちのみ)
火、金	G4-G5	英語
月、水	G4-G5	算数



避難訓練

年度を通して、定期的に全校による避難訓練を行います。今年度は4回予定されており、各クォーターに1回となっています。これらは地震、津波、火災や不審者侵入などの事態を想定して行われます。8月22日地震を想定し、最初の避難訓練が行われました。地震が発生した場合、生徒は揺れが治まるまで机の下などの安全な場所へ避難します。指示を待って、そばにある一番安全な出口を経由し校庭までクラス単位で移動します。今回の避難訓練では、この手順を確認しました。

避難訓練は、2011年3月の震災も視野に入れ、生徒の安全への意識を高めるためにもとても重要だと考えています。

そして避難訓練を行う事により、問題が起こる可能性のある場所などを特定し、実際避難をする際に事前に対応しておく事が可能となります。

なお、避難訓練の際は、校内にいる保護者の方、来校者の皆様にも生徒・スタッフと共に協力をお願いします。



図書室ニュース

新年度がはじまりました

エレメンタリー図書室では、昨年度のKISTivalの収益により新しく蔵書が購入されました。ページをめくり、読書の世界にふれたり、探究ユニットの学習として利用する姿が早くもみられます。新たな教材もまだまだ増える予定です。スクールコミュニティの皆様には日ごろから図書室の充実にご協力いただき心から感謝申し上げます。Library Media Centre (LMC)にも新しい資料が揃っていますので、ぜひお越しください。Destiny、QuestiaSchool、Britannica School Edition、Turnitin.などのサービスも引き続きご利用いただくことができるようになっています。また、生徒にはMr Andi.による利用に関するLMC オリエンテーションセッションが予定されています。



エレメンタリースクールの生徒は、今年度より貸し出しのシステムが次のように変更となりました。従来、G1-5クラスのお子さんは、週に1度の図書の時間に4冊ずつ貸し出しを行っていましたが、早く読み終えてしまったり、読み終えることのできないお子さんもいらしたりといった様子がありました。そこで、今年度は、図書の時間での貸し出しを2冊とし、日中部屋が開放されている時間に自由に図書室を訪れ、新しい本と何度でも交換できるようになりました。生徒は担任よりlibrary passを受けとり、図書室への行き来ができるようになります。これまでより自由に貸し出しができるようになり、図書の回転率を高め、人気の本も以前より手にとりやすくなるでしょう。図書室がより身近になり、1週間に6冊こなすお子さんもみられるなど、子ども達も新たな環境を楽しんでいるようです。保護者の皆様も放課後の時間、お子さんとぜひ図書室にいらしてください。

利用時間:

	生徒	スタッフ
LMC	8.15am - 4.30pm*	8.00am - 5pm
エレメンタリー図書室	8.30am - 4pm**	8.00am - 5pm

*短縮授業の火曜日につきましては、各図書室とも放課後、生徒による利用はできません

**エレメンタリースクールの生徒による放課後の利用は、保護者または代理の方に同伴していただくことが原則となります



LMCでは、G6、7 およびEIC 16、7の生徒がHungry Readersと呼ばれる読書活動をスタートしました。読書の普及、そしてDestiny Questを利用した書評、図書の紹介に取り組んでいます。Hungry Reader bookletを終了した生徒はPIZZA PARTYへの抽選に参加できるようになります。初回の抽選は9月28日を予定しています。9月26日までにMr AndiにHungry Reader bookletを提出した生徒が対象となります。生徒を励まし、活動の実現にご協力いただいたMrs Hall、Ms Haines、Ms Scardino、Ms Gore ありがとうございます。

昨年は、PTA Library Committeeのメンバーをはじめ、保護者の方々、生徒とたくさんの方にボランティアとしてご支援いただきました。現在も新たに購入された図書を長期にわたって利用できるよう保護カバーをかける作業などを行っています。ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、Library Committeeへのご参加をお願いいたします。9月19日午前9時より本館2階LMCにて第1回目のミーティングを予定しておりますので、図書室のサポートにご興味のある方はどうぞご参加ください。また、お時間のある際に直接LMCにお越しいただいても構いません。

今後の予定

9月19日	PTA Library Committee 第1回ミーティング LMCにて午前9時より
9月28日	セカンダリースクールHungry Readers第1抽選
11月2日	エレメンタリースクールDEAR Dress Up Dayコスチュームパレード

最後になりましたが、スクールコミュニティにおいて図書施設がよりよい学習の場を提供できるよう、学校アドミニストレーションにサポートしていただいています。心より感謝申し上げます。

KIST Libraries Staff



Staff 10!

今回Staff 10!では Education Technologies Integratorとして2009年より当校のメンバーであるChristian Thompsonを紹介しします。2012年4月からはインテンシブクラス(EIC)でテクノロジーの指導にもあたっています。



躍動感のあるプレゼンテーションで知られるMr Thompson-テクノロジーについての考えを紹介しています

● 出身地について面白いことを教えてください。

出身であるペンシルベニア州ヨークは、チョコレート菓子York Peppermint Patties、90年代を代表するバンドLiveのふるさとであり、アメリカ1の規模であるハーレーダビッドソンの工場があるところです。また、地元の人々にはアメリカ最初の首都として親しまれています。

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

韓国ソウルの街をタクシーをかわし、バイクで走りぬけたことは忘れられません。すばらしい6年の時を過ごしたその土地はとても離れがたいものでした。今でも都内でコリアタウンと呼ばれる新大久保にでかけ、私のもうひとつのふるさとソウルをなつかしんでいます。

● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

ウィンストン チャーチヒルです。彼ほど西洋文化、そして世界をナチスの侵略から守ることに貢献した人物はいないでしょう。"Fight on the Beaches"のスピーチは何度聞いても鳥肌がたつくらいです。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

特別といえるかわかりませんが、ギター演奏のほか、おぼつかないところもあるものの、英語、スペイン語、韓国語、日本語、ルーマニア語の5か国語で話をする事ができます。また、小さなことをストレスとせず、物事を見据えて考えることができる能力は人並みではないと思います。

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

エレメンタリースクールの2年生であった頃、学校のスプリングチャンピオンになったことがあります。スプリングテストの表彰というのに、トロフィーに記載された名前は皮肉にも"Christine"となりました。

● あなたにとって一番の宝物は？

物に対する執着心はあまりないのですが、ひとつなにかといわれたらギター(The Shiva)でしょうか。美しいメロディーを共に奏でくれるパートナーです。もうひとつ、日本での生活で感謝しなくてはならないのは、高速でインターネットに接続することのできる環境でしょう。

● ご自分を言葉で表現すると？

The Simpsonsのせりふを自らにあてはめると「Moodleはすべての男性と、たったひとりのラッキーな女性Mrs. Moodleにとってすべてである」でしょうか。

● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

どこからスタートしたらよいのか...わかりません。

● 自分を高めるために今やっていることは？

同僚のMr WhittakerとPHPプログラミングコースに取り組んでいる事、減量に挑戦している事(ペプシにかえて、ダイエットペプシを飲むようになりました。これも一歩でしょうか?)また、Moodleのスキルの向上に励んでいます。

● ファンに一言お願いします。

ファンがいるのですか?いっしょにやろうと思ったらきちんと申し出ていただかないと困ります。

オフィスアップデート

学費のお支払いについて

2012-2013 school fee 第2回目の支払期限は9月17日となっております。お手持ちの請求書をご確認下さい。なお、学費の請求書の発行は昨年より年1回となっております。支払期限をお守りください。紛失などの理由で、お支払い詳細が分からない場合は、お電話又はメールにてお知らせ下さい。

片道でのスクールバスの利用について

保護者の皆様のリクエストにより、今年度より片道でもスクールバスをご利用いただけることになりました。料金はルートごとに設定された往復額の半分となっています。ご利用に関しましては、次の条件が適用されます。

- 片道でのご利用は週単位で朝または帰りのいずれかにご乗車いただくこととなります。特定曜日のみの利用はできません。
- 原則として片道で申し込みをされているお子さんの往復利用の受け入れは行っておりません。
- 座席数に限りがあるため、往復で申し込みされるお子さんの利用が優先となります。
- 希望されるルートが、満席となってしまった場合は、空席待ちとなります。

片道でのご利用を希望される方は、**School Bus**

Application Formをご記入のうえ、オフィスまでご提出ください。スクールウェブサイト、Community >> Formsのページに掲載されています。また、現在往復でご利用されているお子さんにつきましても片道にご変更いただけます。9月25日までにお申し込みください。差額の返金等、追って手続きをさせていただきます。

スクールIDカード(生徒証)

IDカードの提示

G1以上の生徒は、登下校時およびキャンパスへの出入に際し、ゲートにてIDカードをかざすこととなっています。本人以外の方によってゲートが開錠された場合も同様です。スクールバスを利用する生徒のみ対象外となります。カードの利用状況によっては、欠席と記録されかねませんのでご注意ください。

保護者の方につきましても、来校時の出入にはカードの利用をお願いいたします。緊急時等キャンパスにいっしょの方々の記録となりますので、ご協力をお願いいたします。日中の来校のみならず、放課後のイベント等に参加される際も必ずお持ちください。また、保護者用のカードが追加が必要となる方につきましては、オフィスにて1枚2,000円にてお申し込みいただけます。スクールウェブサイト、Community >> Formsページのフォームをご利用ください。

カードにつきましてはこちらもご注意ください

- IDカードはダメージを受けやすくなっていますので、しっかりとケースに入れ携帯してください
- 記録が読み取りに影響することがありますので、パスモ、スイカなどの磁気カードとは別に保管するようにしてください

セカンダリーSRC

Welcome back to school from the SRC!

SRC(セカンダリー生徒会)は今年度のスタートもすでにもりあがりを見せています。Homeroom Representative (ホームルーム代表)も先日決まり、EIC(英語集中クラス)からの代表も含めた新しいSRCメンバーと力を合わせ、充実した1年を送ることができるよう楽しみにしています。

Homeroom Representativeの選出に先立ち、候補者はクラスメートの前でキャンペーンを行いました。クラスを代表するのに相応しい代表を選んでもらうため、それぞれクラスで短いスピーチをし、その後投票によりHomeroom Representativeが決定しました。

今年度は、これまでのスクールダンスのようなイベントも引き続き行いながら、昨年度のexecutive election(選挙)で生徒たちに発表した目標を実現させていきたいと思っています。また、SRC規約の“草案”と企画提案システムを使いながら、学校をより良くするとともに、コミュニティの皆様にも私たちの活動を報告していきたいと考えています。

委員



セカンダリースクール生徒会 委員

会長
Monica (G12A)
副会長
Miri (G12B)
会計
Min (G11B)
書記
Kouta (G10B)



新しく homeroom representative (クラス代表)に選ばれた生徒の皆さん、おめでとう！

クラス代表

Grade 6
Jin Il (G6A) | Kevin (G6B)
Grade 7
Selena (G7A) | Hee Young (G7B)
Grade 8
Moana (G8A) | Akshara (G8B)
Grade 9
Shah Raj (G9A) | Keun Woo (G9B)
Grade 10
Mikio (G10A) | Tatsuya (G10B)
Grade 11
Akiko (G11A) | Taisei (G11B)
Grade 12
Chaitanya (G12A) | Airi (G12B)
EIC
Jong Won (I6A) | Hee-Eun (I10A)

教員代表のMr Fishman



Founders' Awards

Founders' Awards (創業者奨学金)は、学校コミュニティに素晴らしく貢献している生徒を表彰する事と、生徒の学習への意欲を高める事の2つを目的として、3年前、学校の創始者であるMr and Mrs Komakilによって設立されました。奨学金プログラムには、**KIST Study Scholarships**と**KIST University Support Scholarships**のふたつがあります。これらのプログラムについては、学校ウェブサイトの“サポート”でご覧いただけます。次回のアワードの詳細は追ってウェブサイトアップロードし、ご家族の皆様にもお知らせ致します。

今年アワードが授与されたのは下記3名の生徒です。おめでとうございます！

KIST Study Scholarships
Kouta (G10B) - Silver award
Daniel (G11A) - Bronze award



Kouta



Daniel

KIST University Support Scholarships
Su Ah (Class of 2012) - Bronze award



Su Ah



College Guidance News

カレッジガイダンスオフィスからこんにちは！今年、もうひとりのカレッジガイダンスカウンセラー、Mr Robert Johnsonがガイダンスオフィスに加わりました。Mr Johnsonはカリフォルニアの公立高校で28年間英語を教えた経験があり、生徒のためのカレッジエッセイワークショップも長年担当されてきました。12年生の金曜日のアドバイザリーではによる「パーソナルステイトメント(志望理由書)ワークショップ」がはじまり、12年生は、大学出願のためのパーソナルエッセイやカレッジエッセイに取り組んでいます。

Class of 2012進学先 国別:

14人の生徒が2012年9月から大学に進学しました。

米国: 3名

カナダ: 3名

日本: 7名

韓国: 1名

4人の生徒が 現在2013年3月または4月から始まる大学に出願中です。

日本: 3名

韓国: 1名

1人の生徒は、日本でギャップイヤーをとっています。

ご覧のとおり、このクラスでは進学先の国として日本がもっとも人気で、次はアメリカとカナダです。その理由のひとつとして、近年新たに英語でのプログラムを開設する大学が日本で増えてことがあげられるのではないかと思います。早稲田大学国際教養学部、京都の立命館大学国際関係学科、明治学院大学国際キャリア学部、九州の立命館アジア太平洋大学などでは、当校の生徒が引き続き英語で大学教育を日本で受けることが可能です。

今後の予定

大学フェア (一般向け、無料)

- 9月29日(土)11:00-17:00
“日本学生支援機構JASSO海外留学フェア”
http://www.jasso.go.jp/study_a/info_fair.html
- 10月13日(土)13:00-18:00
“ブリティッシュカウンシル 英国留学フェア2012”
<http://education-uk-fair.jp>
- 10月14日(土)13:00-18:00
“beo留学フェア”
<http://www.beo.co.jp/fair/english/index.html>

KISTでの大学説明会 (KIST G9-G12生徒保護者対象)

- 10月10日(水)15:30-16:30
The Arts University College at Bournemouth, UK
- 10月11日(木)11:30-12:30
The George Washington University, USA

PSAT at KIST (G10 全員必須G11希望者のみ)

- 10月17日(水)通常授業時間中(詳細はPSAT letterをご覧ください)

Keiko Okude and Robert Johnson
College Guidance Counselors



Mrs Okude



Mr Johnson

Live@eduから Office 365へ

6月より本校のe-mailシステムがLive@eduよりOffice 365へアップグレードされました。Parent Welcome Nightでもそれぞれご案内させていただきましたが、変更に伴い、より充実したサービスが提供できるようになりました。

各ご家庭、生徒、教員のe-mailアカウントはこちらよりアクセスいただけます。

<https://login.microsoftonline.com>

e-mailアクセスに問題があるようでしたら、ブラウザ内のインターネットのファイル、クッキーを削除し今一度ご確認ください。引き続き問題がみられるようでしたらIT Officeまでご連絡ください。

お知らせ

身だしなみと制服

- フリードレスデーの日も含み、ピアスの透明なポストも含み、一切のアクセサリは禁止です。
- 肩にかかる長さの髪の毛は必ず結ぶ。下を向いた時に顔にかかってしまうような前髪は、必ずヘアピンなどでまとめること。ヘアゴムやリボン、ピン、ヘアバンド、カチューシャは黒色・紺色・こげ茶色の無地のみ可。

個人写真およびクラス写真の撮影日

10月1日、2日 ※詳細は後日お知らせいたしますが、クラス写真はこの日しか撮影できませんので、お休みされないようお気を付けてください。

忘れ物

9月28日までに取りに来なかった忘れ物は、制服はKISTivalのバザー販売用にします。それ以外のものは処分します。

登校時間

登校は8:15 a.m.以降となっています。指定された時間からのスーパービジョンとなりますのでご理解とご協力をお願いいたします。早めに登校された場合は、受付前にて静かにお待ちいただくこととなりますのでご了承ください。

慶応大学でのサマーインターンシップ

G12のPreeti (G12A)、Marie (G12B)、Monica (G12A)が夏休みを利用して慶応大学でのインターンシッププログラムに参加しました。すばらしい経験を報告させていただきます。

私たちのインターンシップを承諾し、担当、スーパーバイズして下さった稲見教授との出会いは、TEDトークショーで教授と研究チームが開発した光学迷彩システムを発表する様子をYouTubeで目にしたことでした。著名な大学教授と面会できることになり、感じた興奮と緊張は言葉で表すことができません。

日吉キャンパスのシンボルであるぎんたまで、進路カウンセラーであるMrs Okudeと待ち合わせをしている時は、教授との対面を控え、何が待ちうけているのだろうという不安やあせりが募りました。熱風、そして照りつける夏の日差しから解放され、伝統ある慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科(KMD)の建物に足をふみいれると不思議と少し落ち着いた事は、今でも覚えています。

まずはじめに、光学迷彩、Popuppy、Thermo Haptic(熱触覚)、テレグジスタンスの4つのプロジェクトが紹介され、2週間のインターンシップ期間の内容、展開を話し合いました。そして、3人それぞれが違ったプロジェクトに参加し、互いに内容や経験をシェアすることになりました。

ここで、一人ひとりによる経験を紹介します。

Preeti: 光学迷彩

このプロジェクトは、光学迷彩のテクノロジーを普及させるとともに、人々の思考に働きかけ、まるで空中に浮いているかのように感じることを目的としています。物理のクラスなどから多少基礎知識をもっているつもりでしたが、プロジェクトの複雑なコンセ



プトを理解するにはひと苦労でした。文献を読み、小規模の試作装置の製作、実験への取り組みや、研究生との話し合いを通して物理学を中心とした必要な知識、理解を深めていくことからのスタートとなりました。そこから数学を用いたモデルを提案するなどして、プロジェクトにかかわっていくことになりました。睡眠時間を削り、メモと格闘しながら繰り返し工夫を重ね、なんとか無事に完成させることができました。

インターンシップを通して、研究、実験のプロセスを実際に経験し、私のエンジニアとしての将来への可能性にも手ごたえを感じる事ができました。何より、生活に物理や数学の知識がいかに応用され、いかされているのかについての理解を深めることができました。

Marie: Thermo Haptic (熱触覚)プロジェクト

Hapticsとは私たちが物質にふれ、肌で感じる触覚を意味します。今日の生活にいかされているもののひとつとして、携帯電話のマナーモード(バイブレーション)があげられます。プロジェクト名に"thermo"がつくことにも示されているように、熱感覚をテクノロジーにとり入れた科学の分野において、熱感覚を用いた試作装置の製作に取り組んでいます。両凸レンズを用いて発光体による光線を鏡に視準させ、その光の焦点をユーザーの肌の特定の場所に移動するように操作し、感覚に働きかけるしくみです。



これまで物理やデザインテクノロジーの科目を履修していないこともあり、thermo hapticsの基本理論を理解することからのスタートでしたが、少しずつスキルや知識を身につけていくと



慶応大学の創立者
福澤諭吉像の前で

もに装置のデザインにかかわることができるようになりました。インターンシップに参加することができたからこそ、Inkscape Portable、SolidWorks、Lenstoy、Processing、Arduinoなどのプログラム、レーザーカッターをはじめ、アクリル素材をとり入れたデザインにふれ、学ぶことができたと思っています。

Monica: テレグジスタンス

プロジェクトの一員として、テレグジスタンスのシミュレーションを視覚的に展開する基本的な試作装置に取り組みました。テレグジスタンスは、テクノロジーを導入し、遠隔環境においても実際にその場所にいるかのように環



境に働きかけ、体験することのできる技術です。代理のロボットであるかのように、ある場所から全く異なる環境を目、耳などで感じ、そこに起こる活動を制御することができる状況を想像することができるでしょうか。SF映画のようですが、これこそ慶応大学の研究チームが成し遂げたものであり、その現場に立ち会い、学ぶことができたことは非常にラッキーなことでありました。

続きは次のページへ

前ページからの続き

また、TELESAR Vと呼ばれるテレグジスタンス代理ロボットが製作された研究室で作業をし、テレグジスタンスを自ら体験することもできました。立体映像のディスプレイを頭につけ、TELESARに信号を送るジャケット、グローブを装着し、頭や腕、体を動かすと、ロボットが私の動きを感知し、コピーするとともにロボットが感じた感覚が送り返されてくるのです。自らの指があるつもりで、目の前に手をかざすと、ごつごつしたロボットの太い指が同じ動きをしているその光景はこれまでに感じたことのない不思議なものでした。

この経験は、人間における生理学やプログラミングにかかわる技術、スキル、機械工学、デザインのみならず、知覚、認知のシミュレーションの可能性にふれ、考えるきっかけとなりました。

科学とテクノロジーが応用され、テレグジスタンスによって視覚、聴覚、筋覚が再現される様子は驚きの連続でした。今後の展開が楽しみです。

大学院生の指導のもと作業をし、大学のキャンパスで時間を過ごしたことにより、今後なにが私たちを待ちうけているのか、大学生活を垣間見ることができた気がします。睡眠、自由時間を除いてほぼ研究を中心とした大学院生の生活には頭があがりません。プロジェクトに対する熱意、その思いこそ、世界に貢献し、成果を収めていくために必要な事であることを心から感じました。

最終日を控えた前日は夜遅くまでレポート、プレゼンテーションの準備におわれました。期間中、日吉キャンパスからの帰宅がこれまで遅くなったこと、また学校生活も含め、夜までこれほど作業にあたったことは初めての経験でした。私たちの不安や心配をよそに、実際の発表はあっという間であり、Mrs Okude、稲見教授、そして研究生たちにも高評をいただくことができました。

今ではキャンパスに位置する研究室への道のり、にぎわう雰囲気の中食事をしながらの会話を楽しんだカフェテリア、スーパーバイザーと作業に取り組んだ充実した時間をなつかしく思います。そして、インターンシップを通してかけがえのない経験をさせていただいたことに心から感謝しています。レポートやプレゼンテーションへ向けての準備など、課題もたくさんありましたが、すべてが今後の私たちにとって、力となるものであります。大学に進学し、このような経験を積み重ねていくことができることを楽しみにしています。

スポーツニュース

生徒や保護者の皆様とともに新学期が迎えられましたことを大変嬉しく思っています。今年度もクラブ活動、スポーツにおいて充実した1年が過ごせることを楽しみにしています。クラブ活動のみならず、バレーボール、クロスカントリー、バスケットボール、サッカー/フットサルなどのイベントも予定されています。



東京近郊のインターナショナルスクールをメンバーとするISTAAにチームとして登録、参加するための資格が今夏見直されました。今年度、ISTAAに加入するチーム、メンバーは、リーグのレベルを維持するため、予選、指導などを通して選抜されることとなりました。スキルや運動能力のみならず、学びそしてバランスのとれた青少年として成長していくことに対する意欲も選考の対象となります。

メンバーとしてのチャンスを惜しくも逃してしまった場合でも、オフシーズンのクラブ活動に参加していただく機会を設けています。スポーツシーズン後のクラブ期間に参加し、スキルをのびながら力をつけていただくこととなります。先日、U14、U18 それぞれのバレーボールチームでトライアウト(選抜)を行いました。バレーボールをはじめとするいくつかの競技では、ISTAAの指定する試合には登録外となるものの、メンバーとの練習に合流し、強化試合などを行うメンバーも召集されています。より多くの生徒に練習の機会を提供し、目標をもって活動に励んでもらいたいと願っています。生徒が責任やチームに対する意識をもち、チームメイトやコーチと一丸となり、当校の代表として競技への気持ちを高めてもらうことを目的としています。

チーム構成やクラブ活動などにつきましてのご質問はMr Jay Leroy (jay.leroy@kist.ed.jp) までお願いいたします。

今後のスポーツイベントをご案内します:

- セカンダリースクール Field Day—9月18日(火) アドバイザリー時
- エレメンタリースクール Field Day—9月19日(水) 8:40-10:10am
- ISTAA U14 男子バレーボールクリニック(合同練習)—9月29日(土)、9am-2pm 当校にて
- J/V 女子バレーボール横浜トーナメント—10月5日(金)、6日(土) 横浜インターナショナルスクールにて
- ISTAA U14 女子バレーボールクリニック(合同練習)—10月13日(土)、9am-2pm 東京インターナショナルスクールにて
- ASIJ Elementary Soccer Jamboree—11月3日(土) アメリカンスクール インジャパンにて
- ISTAA クロスカントリーチャンピオンシップ—11月30日(金) 当校主催

皆様のご声援、ご協力、よろしくお願いたします。

GO COMETS!!!!

Jay Leroy
Athletic Director/PYP PE Teacher



卒業生の声

当校を2011年に卒業したMaung Pyay Phyo Oo (PPO)は現在シカゴ大学にて2年目を過ごしています。

みなさん、こんにちは。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、2011年にKISTを卒業しましたPPOです。2015年の卒業へ向けて現在シカゴ大学(uchicago.edu)で学んでいます。

現在、Habitat for Humanityとシカゴ大学日本人学生の会によるボランティアツアーに参加しており、宮城県石巻市にあるボランティアハウス、「It's Not Just Mud」より近況をお届けしています。ツアーの企画にも協力し、大学より7名の仲間とやってきました。大学生活のほんの1ページです。

大学生活をひとことであらわすと「BIG」です。学習からスポーツ、コンサート、共有スペースでの仲間との会話、街中で過ごす時間と様々な出来事がとりまく毎日です。

正直なところ、学習はとても大変です。シカゴ大学は学業へのフォーカスから「娯楽・楽しみはないに等しい」ことで知られており、学習は容易なものではありません。賛否両論あると思いますが、学習をいかにやりくりするか、それぞれ自身にかかっているのだと思います。シカゴ大学に入学したばかりの1学期、社会科学のクラスでAdam Smith、Karl Marx、Emile

Durkheimの書籍が課題として出されました。それぞれについて書かれた記事などではなく、著者による文献でした。内容を理解することができるまで苦労に苦労を重ねました。ほかにもFreakonomicsの著者であるSteven Levittによる経済学のクラスを受講したり、バレエ入門、ピラテスなど様々な体験をすることができます。

大学では自由に過ごしています。授業前、朝の時間にジムに通ったりと身近でスポーツを楽しんでいます。また、1日の予定によっては、友人と夜遅く汗を流したり、Midway Plaisance(サッカー場が何面も設置されたフィールド)で真夜中のサッカーを楽しんだりしています。キャンパス内での週ごとのイベント(人間対ゾンビなど)にも参加するなど、大学では自分で調整しながら好きな時間を好きなように生活を送っています。

そんな大学生活そのものをとても気に入ってます。寮に住み、いつでも友人がそばにいて、考えや気持ちがオープンになる気がします。友だちとのやりとりも、さりげない話題から人生についてまで幅広く、様々な視点にふれることができ、とても充実しています。また、夜風に吹かれながら気



分転換を兼ねてロックフェラーチャペルまで散歩にでかけ、見事なゴシック建築に親しむことなどでもできる環境です。ここではこれまでと違った新たな世界が広がっています。大学生活は自身にとって本当のスタートであり、みなさんにもそれぞれがそう感じることでできる場所が見つかることを願っています。

大学には様々な可能性があります。そして、それぞれがどう受け止めるかによって違った経験をもたらすことでしょう。ハーバード大学に進学しても将来の方向性もわからずにいる人もいれば、コミュニティーカレッジで生涯においてかけがえのない経験に出会うこともあるのです。はじめはうまくいかなくとも次第に学んだり、また、自分に合ったよりよい環境を求めて進路を変更するなどの道もあります。

大学生活はひとつの試練、挑戦ですが、ストレスを抱えこまず、自らと向き合い、その思い、気持ちに素直になることが鍵となるのではないのでしょうか。

Maung Pyay Phyo Oo

2011年卒業生
シカゴ大学在学



ロックフェラーチャペル



街にて仲間とランチを楽しむPPO

写真: Daniel Tracht

PTAニュース

PTAよりスクールコミュニティの皆様へ今年度の委員よりご挨拶申し上げます。昨年再編成されて以来、PTAとしての活動を発足させることに力を注ぐとともに、よりよい運営を心がけ取り組んでまいりました。昨年度の経験を生かし、今後は新たな活動も展開し、提供していきたいと思っています。子ども達をサポートしていくことを第一に、保護者の皆様のご意見、ご提案とともに生徒をとりまく課題に取り組んでいきたいと思っています。

コミュニティの皆様のご協力により、PTAの運営も大幅に改善されました。心より感謝申し上げます。今後もより多くの方にミーティングにご参加いただけることを望んでいます。また、各委員会も皆様のご支援を必要としています。学年を越えて様々な保護者の方と出会い、交流することのできる機会であり、イベントへ向けて一丸となり、実現することができた時の喜びはかけがえのないものでしょう。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

それぞれの委員会にはスクールe-mailシステムを通してご連絡いただけます。

各委員会近況

1. 文化関連委員会

この委員会は世界各国出身の教職員、保護者、生徒の文化的接点を高め、相互理解を育む事を目的としています。主な活動はKISTの2月21日に開かれるナショナルコスチュームデイ/インターナショナルマザーラングエッジデイです。また、特定の文化に焦点をあて紹介するコーヒーモーニングも主催しています。ご興味のある方はpta.cultural.connections@family.kist.ed.jpまでご連絡下さい。

2. 図書委員会

この委員会は、図書及びメディア資料のアップデートと向上のために、図書館司書を助け、生徒及びスタッフにサービスを提供します。ブックフェア、リーダソン、教科書販売やブッククラブ、スカラスティックのブックオーダーなどのイベントの企画も含まれます。連絡先はpta.library@family.kist.ed.jpです。

3. 新入生歓迎委員会

この委員会は、学校及び地域情報の資料の提供やサポートを、新入生及びその家族に提供し、彼らを暖かく迎えます。ウエルカムバスケットを用意したり、ペアレンツウエルカムナイトのお手伝いやパディファミリーの導入など、さまざまな面から新入生やその家族が学校や地域に慣れるようサポートして行きます。連絡先はpta.newcomers@family.kist.ed.jpです。

4. 生徒課外活動応援委員会 ("Parents Booster Committee"より名前がかわりました)

この委員会は、生徒達がよりよい経験を得られるために、課外活動のサポートをします。新しい興味深い方法を探したり、保護者やスタッフのための企画もします。今年度の活動予定は、1) 生徒の運動用具のための募金活動、2) クロスカントリーのお手伝い(11月16日と30日)、3) 課外活動のボランティア募集、4) 対外試合のサポート、5) 委員勧誘です。今年度、多くの方が私達と一緒に活動してくれる事を期待しています。連絡はpta.student.activities@family.kist.ed.jpまで。

5. ニュース委員会

この委員会は、PTAやKISTコミュニティに関するニュースや情報の主要提供元です。PTAのイベントの案内や情報をウェブやニュースレターなどで紹介します。受付の正面のクリスタルボードの中にPTAのスペースができたので、そこでも様々なイベントの紹介をする予定です。各校長とアドミッションディレクターが窓口となりますが、コミュニティで分かち合いたいニュースがあればぜひご連絡下さい。また、ニュースレターと一緒に作ってくれる仲間を募集中です。みなさんのお力をぜひおかし下さい。pta.news@family.kist.ed.jp

6. イベント委員会

私達はイベントや様々な活動の企画、募金運動を楽しみながらしています。KISTコミュニティが潤滑に機能するような社会的イベント、お楽しみイベント、小旅行などを予定しています。学校の体育館が新しくなったらいいと思いませんか？プールがあったらいいと思いませんか？これらの為の募金活動もしています。もちろん、他の募金活動もあります。ただ楽しむ為のイベントもあります。みなさんのアイデアやサポートが必要です。一緒に活動しませんか。pta.events@family.kist.ed.jp

7. ベルマーク委員会

この委員会は、学校やコミュニティの利益となるようベルマークを集め、集計、分類するために設立されました。数週間以内にミーティングを行う予定ですので、PTA掲示板(受付正面)にご注意下さい。もし以前どこかでベルマークの集計をした事がある方がいらっしゃれば、ぜひやり方を教えて下さい。未経験でもご興味があれば、ぜひ一緒に活動しましょう。連絡先はpta.bellmark@family.kist.ed.jpです。

2012-2013年度 PTA委員



会長

Akiko Inoue
(Emiri G6A, Taisei G11B)



副会長

Mitsuka Ishikura
(Hikaru G7B)



会計

Scott Smith
(Shu G11B)



書記

Charlotte Jacobsen
(Harriette G3B, Magnus G1B)

受付向かいにPTAの掲示板を用意しておりますのでご確認ください。イベントの情報などご案内していく予定です。スクールコミュニティへのお知らせなどございましたらpta.news@family.kist.ed.jpまでご連絡をお願いします。また、PTAニュース委員会ではPTAニュースレターの作成にご参加いただけるボランティアの方を募集しています。ご協力をお願いいたします。